

第 20 回 東京大学 生命科学シンポジウム 開催報告

主催：東京大学 生命科学ネットワーク
 共催：東京大学、東京大学生命科学技術国際卓越大学院プログラム、
 東京大学教養学部 高校生と大学生のための金曜特別講座
 会場：駒場 I キャンパスレクチャーホールからオンライン配信（ハイブリッド式）

東京大学 生命科学ネットワークは、生命科学に関わる学内 17 部局で構成され、生命科学シンポジウムの開催や教科書作成などの活動を通じて、研究教育支援に取り組んでいる組織です。

本年は、新型コロナウイルスの拡大の影響で例年春に開催していたシンポジウムは延期し、2020 年 10 月 30 日（金）・31 日（土）、駒場 I キャンパスからオンライン配信にて開催しました。今年度のシンポジウムでは、初の試みとして若手の口頭発表と高校生発表の枠を創設しました。また、もう一つの挑戦として、オンライン講義配信において先進的な取り組みをしている「高校と大学生のための金曜講座」とコラボレーションを行いました。具体的には、全国約 1000 校の中・高校生向けに、新型コロナウイルスの治療薬の研究を行っている井上純一郎東京大学特命教授と、ノーベル賞を受賞したオートファジーの研究を行っている水島昇医学部教授の特別オンライン講演会を追加で企画しました。井上教授の発表はテレビ朝日の報道番組でも取り上げられ、大きな反響を呼びました。

シンポジウム本編では、各分野のパイオニアとして知られている 3 名の先生による最先端の研究成果のご講演、16 名の若手研究者口頭発表、220 件のポスターセッション、1 件の高校生発表が行われ、オンラインながらも研究分野や学部を越えた活発な議論が見られました。また、審査の結果、45 件の優秀ポスター賞が授与され、若手研究者の研究活動への意欲を高めました。9 の企業・団体から協賛をいただき、特別オンライン講演会・本編共に、学内外の大学生・大学院生・研究者だけでなく、全国の高校生が参加し、非常に多くの反響をいただきました。特に、高校生の参加者からは「東京大学の最新の研究にふれられるとても貴重な機会だった」「将来の選択肢が増えた」「次回以降もぜひオンラインでの配信を継続してほしい」という声が多数聞かれました。



特別オンライン講演会冒頭で挨拶をする 太田 邦史
 生命科学ネットワーク長
 総合文化研究科長



開会の挨拶(ビデオメッセージ)をする 福田 裕穂 理事・副学長



講演会の結びで挨拶をする
 兵藤 晋 実行委員長
 大気海洋研究所 教授 (左)

ポスター賞審査委員長を務めた
 永田 晋治 副実行委員長
 新領域創成化学研究科 准教授 (右)



.....

広告・協賛 (50 音順)

- セルシグナリングテクノロジージャパン株式会社
- 株式会社 高長
- 東京大学 創薬機構
- 株式会社 トミー精工
- 浜松ホトニクス 株式会社
- フナコシ 株式会社
- ベックマン・コールスター 株式会社
- 株式会社 薬研社
- 有限会社 山本薬品商会

生命科学シンポジウムへのご協力、
 心より御礼申し上げます。

生命科学シンポジウム × 高校生と大学生のための金曜特別講座 連携 特別オンライン講演会

10月30日(金) 17時30分～19時00分

新型コロナウイルス感染症：東大の基礎研究から生まれた治療薬の種



ご講演中(左)・優しく丁寧に高校生達の質問に答える(右)
井上純一郎 医科学研究所 特命教授

座長を務めた 新井宗仁
総合文化研究科 教授

全世界を予告なく襲った新型コロナウイルス感染症の治療薬のご研究をされている井上先生。大変お忙しい中、治療薬の現状や、日本の未来を担う若者に向けて、力強いメッセージをいただきました。薬学部出身の井上先生。「患者さんに立つ研究をしたい」と熱い気持ちを語っておられました。

10月31日(土) 9時10分～10時40分

オートファジー：細胞の中のリサイクル



ご講演中(左)・身振り手振りを交えて質問に答える(右)
水島昇 医学系研究科 教授

座長を務めた 兵藤 晋
大気海洋研究所 教授

漫画や写真を交えた面白くわかりやすい講演で会場でも時々笑いが巻き起こりました。医学部=人の生物学部。学部選択を迷っている高校生へ、研究をしたいなら医学部という選択肢も魅力的だと、語っていただきました。内科医としてのご勤務経験も現在の基礎研究にいきているそうです。

講演会 13:00 ~ 15:30

講演会の部は堀 昌平 薬学系研究科 教授の進行のもと、3つの部局（総合文化研究科・人文社会系研究科・工学系研究科）からの講演が行われました。

講演の要旨は、こちらよりシンポジウム HP よりご覧いただけます。



座長 堀 昌平
薬学系研究科 教授



佐藤 守俊 総合文化研究科 教授

13:00~13:40

生命現象の光操作技術の創出

13:45~14:25

意図と自由と責任の 一筋縄ではいかない関係



古田 徹也 人文社会系研究科 准教授



平林 祐介 工学系研究科 准教授

14:30~15:10

小胞体 - ミトコンドリア 接触の果たす役割



講演会場の様子

若手ワークショップ 15:30 ~ 18:00

ウェビナー A

座長

柳澤 修一 (生物生産工学センター 教授)
松永 行子 (生産技術研究所 准教授)

発表者一覧

境 祐二 (医学系研究科)
小林 和弘 (理学系研究科)
松橋 恭平 (薬学系研究科)
渡邊 成晃 (医学系研究科)
郭 晨穎 (農学生命科学研究科)
深谷 俊介 (薬学系研究科)
中谷 理沙子 (医学系研究科)
庄司 圭佑 (定量生命科学研究科)

ウェビナー B

座長

大杉 美穂 (総合文化研究科 教授)
長谷川 禎彦 (情報理工学研究科 准教授)

発表者一覧

余越 萌 (定量生命科学研究科)
李知衡 (医学系研究科)
坂田 莉奈 (先端科学技術センター)
高尾 大輔 (医学系研究科)
木田 美聖 (農学生命科学研究科)
倪 申 (薬学系研究科)
高安 伶奈 (医学系研究科)
湯澤 賢 (農学生命科学研究科)

優秀ポスター賞受賞者リスト (全 45 名)

| | | | |
|--------|---------------|---------|---------------|
| 大槻 並枝 | 生物生産工学研究センター | 樋口 薫子 | 情報理工学系研究科 |
| 橋本 秀一 | 農学生命科学研究科 | 板倉 拓海 | 農学生命科学研究科 |
| 大塚 祐太 | 理学系研究科 | 吉田 文明 | 薬学系研究科 |
| 高島 慶一郎 | 生物生産工学研究センター | 坂井 星辰 | 薬学系研究科 |
| 吉留 大輔 | 農学生命科学研究科 | 河野 玲奈 | 薬学系研究科 |
| 奥出 紘太 | 理学系研究科 | 守屋 一輝 | 薬学系研究科 |
| 由井 杏奈 | 工学系研究科 | 福田 尋晃 | 工学系研究科 |
| 田中 悠貴 | 薬学系研究科 | 小境 陵介 | 農学生命科学研究科 |
| 阿部 泰子 | 理学系研究科 | 伊藤 慶 | 薬学系研究科 |
| 鹿島 大幹 | 医学系研究科 (付属病院) | 松橋 恭平 | 薬学系研究科 |
| 藤岡 礼任 | 医学系研究科 (付属病院) | 竹田 穰 | 薬学系研究科 |
| 福田 泰啓 | 工学系研究科 | 山本 康博 | 医学系研究科 (付属病院) |
| 粕谷 有沙 | 薬学系研究科 | 小川 笑満里 | 薬学系研究科 |
| 岡本 紘幸 | 理学系研究科 | 水上 薫 | 医学系研究科 (付属病院) |
| 小林 和弘 | 理学系研究科 | 池田 貴史 | 理学系研究科 |
| 高橋 暁 | 医学系研究科 (付属病院) | 丸山 夏海 | 農学生命科学研究科 |
| 米 秀之 | 総合文化研究科 | 坂本 直観 | 農学生命科学研究科 |
| 田中 優実子 | 理学系研究科 | 中山 新 | 農学生命科学研究科 |
| 里見 明澤 | 薬学系研究科 | 山内 駿 | 理学系研究科 |
| 松浦 宏大 | 薬学系研究科 | 多田 誠之郎 | 理学系研究科 |
| 澤田 健 | 医学系研究科 (付属病院) | Zhou Qi | 生産技術研究所 |
| 亀井 亮佑 | 医学系研究科 (付属病院) | 逸見 知世 | 理学系研究科 |
| 鈴木 穂香 | 医学系研究科 (付属病院) | | |